

東彼杵町

千綿溪谷をまむ
カフェと美術館
そこには自然と対話する
特別な時間が
流れていました



「湧き水カフェ 風水庵」
近くの渓谷の風景。左上
は「滝の上の美術館」

湧き水カフェ 風水庵 東彼杵郡東彼杵町太ノ浦郷822-7 ☎0957-46-1876
滝の上の美術館 東彼杵郡東彼杵町瀬戸郷 ☎070-5410-4780

自然の中でゆっくりと時間が 流れる場所

長崎県のほぼ中央に位置し、江戸時代から交通の要衝として栄えた東彼杵町。風光明媚な大村湾に面し、緑豊かな山あいには茶畑と田畑が広がり、さらに山間部へ行くと、千綿川の清流に沿って48の滝と淵が連なる千綿溪谷があります。

「東彼杵町は棚田や茶畑、千綿溪谷をはじめ、日本の原風景がたくさん詰まったまち。こんな素敵な風景が残っているまちはめったにないですよ」と語るのは、千綿溪谷のそばで「湧き水カフェ 風水庵」を経営する島川浩二さん。緑深い山肌と滝の音を身近に感じられる古民家風のカフェは、訪れた人に安らぎを与えています。

島川さんは長崎市出身で、東京で飲食店を営っていましたが、東日本大震災



「湧き水カフェ 風水庵」は手打ちそば店だった建物を改装し、カフェとしてオープンした



島川浩二さんは、「シマカワコウチ」の名で音楽活動を行うほか、各種ワークショップなどを開催。子どもたちを対象に自然体験プログラムなども実施



築70年以上の元旅館の建物を活用した「滝の上の美術館」。その名の通り窓から千綿溪谷の滝を一望できる。入館料300円(絵ハガキ・お茶付き)。開館日はフェイスブックで確認

を機に県内へのUターンを決意するとともに、被災地の親子の移住支援事業を企画。その提案を受け入れてくれたのが東彼杵町でした。「震災後、東京に住むことに不安を感じ、自然がきれいなまちに移住したいと願う親子のための夏休み限定の体験事業でした。東彼杵町は自然の素晴らしさはもちろんですが、人が温かく開放的。この事業を体験した3家族が移住しました」。東彼杵町では現在、移住希望者のための「空き家バンク」や「お試し住宅」を運営するなど、移住者の受け入れに力を入れています。

また、島川さんが東京で経営していた店のスタッフの3人も県内に移住。「湧き水カフェ 風水庵」のすぐそばで「滝の上の美術館」を営む東京都出身の色鉛筆画家、松島理恵子さんもその一人。古い旅館を活用した小さな美術館で、創作活動を行いながら作品を展示しています。「描いているのは、感情を色や形で表現する抽象画。風や光、水の音などを身近に感じられるこの環境は、創造力を広げてくれます」。美術館の来訪者は、そのぎ茶をいただけるながら、ゆっくりと作品を鑑賞できます。ほか、読書などをして過ごすこともできます。「千綿溪谷の良さを感じてもらえれば嬉しいです」と松島さん。

カフェと美術館ができたことで、千綿溪谷を訪れる人が増え、県外からわざわざ足を運ぶ人も。「カフェや美術館では、

自然とゆっくり対話ができます。ここは自然の中で人間が生きていることを感じられる場所。いろんな人に自然と出会って欲しいですね」と島川さん。

二人は、千綿溪谷をはじめ東彼杵町の魅力をフェイスブックなどで発信。滝の音が響く静かな山あいから、少しずつ賑わいの輪が広がっています。

日本二十六聖人乗船の地

豊臣秀吉の命により京都・大阪で捕らえられたキリシタン一行が、極寒の中を長崎の西坂に向かう途中、ここから時津港へ渡った東彼杵町彼杵宿郷



道の駅 彼杵の荘

東そのぎに近くの国道205号沿いにある道の駅。歴史民俗資料館などがある歴史公園に隣接し、特産品を販売している物産館と鯨入りのだご汁など郷土の味も楽しめるレストランを併設東彼杵町彼杵宿郷747-2 ☎0957-49-3311



東彼杵町歴史民俗資料館

東彼杵町の歴史について展示した歴史館と長崎街道の宿場町に伝わる文化について展示した文化館からなる。入口正面には県内最大級の古墳「ひさご塚」がある東彼杵町彼杵宿郷430-5 ☎0957-46-1632



龍頭泉

48の滝と淵が連なる千綿溪谷の上流にある滝。「龍が横たわっているようだ」と称賛されたことから龍頭泉と名付けられた。清流と美しい森林に囲まれた渓谷では四季折々の絶景が楽しめる東彼杵町中岳郷他



大村湾グリーンロード

大村市野岳町付近から東そのぎIC付近までの約12kmの広域農道。大村湾や茶畑などを望む風光明媚なルートで、ドライブやツーリングに利用する人も多い



千綿駅

海を一望する駅として知られ、「青春18きっぷ」のポスターに登場したことで話題となったJR大村線の名所。昭和3年建築のレトロな木造駅舎も人気で、駅舎内にはカフェもある東彼杵町平田郷750-3



東彼杵町



表紙の絵にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見られます!

※BGMには、大島ミチルさん作曲「Nagasaki Green&Blue」を使用しています。

「よかテ!」でもチェック!



step 1 まずは無料のARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード

App Store

Google Play Store

COCOAR2 検索



iOS向け「App Store」またはAndroid向け「Google Play Store」から「COCOAR2」で検索。無料のARアプリ「COCOAR2」(ココアル2)をダウンロードして、対応する端末にインストールしてください。(パンダに「2」がついているアイコンが目印です) ※一部対応していない機種もあります

step 2 「COCOAR2」を起動し、表紙イラスト(P14のレシピの写真も動画が見られます)を読み込んでみましょう。画像を感じると、自動で動画が再生されます。読み込んだあとは、端末をかざさなくても見ることができます

Scan!



読者プレゼント!

「そのぎ茶」



P15の読者プレゼントの応募方法で、動画の中に出てくるキーワードを書いて応募ください。抽選で5名様にプレゼントします

表紙のはなし『千綿溪谷』

「滝の上の美術館」の下を流れる白木淵の滝。周辺は手つかずの自然が残り、四季の移ろいを楽しめる。この下の蓮花淵から白木淵付近の風景が千綿溪谷の中で最も美しいといわれる。

